

全ゲノム解析により見えてきたもの

疫学調査結果の裏付け

- 関連事案と推察していた事例で遺伝子も一致
- 遺伝子の違いから県外からの流入経路が複数あることが明らかに
(首都圏、関西、山陽)

第4波における県内流行株の変遷が明らかに

- 3月下旬:主にR.1株(E484K変異)・アルファ変異株(N501Y変異)も検出
→4月下旬以降:アルファ変異株のみ
- 現時点でデルタ変異株(L452R)は検出されていない

⇒ **特定の変異株について対策を強化(6月補正予算5,000万円)**